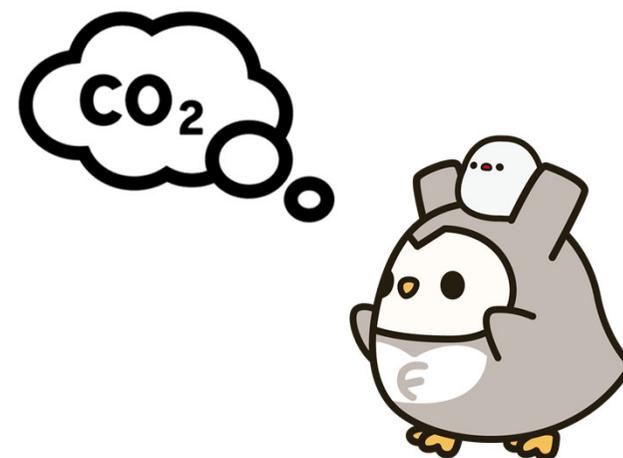


環境にやさしい新しい広告のカタチ

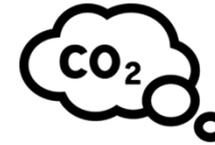
FUKUYO 2.0

Vkrsslqj #edj #dgyhuwlvqj #huylfh# lk#sul}hv

「環境にやさしい選択：
バイオマスレジ袋とポリ袋の比較」



環境負荷の違い



バイオマスレジ袋の特性

1. 環境への貢献

バイオマスプラスチックは、植物由来の有機資源を原料としています。これにより、成長過程で植物が大気中の二酸化炭素を吸収・固定化するため、焼却時に発生する二酸化炭素量が相殺されます。この特性により、**バイオマスレジ袋は大気中の二酸化炭素の増加を抑制し、地球温暖化対策に貢献します。**カーボンニュートラルを実現する重要な素材として、持続可能な未来を支えます。

2. サーキュラーエコノミーの推進

バイオマスは再生可能資源であり、短いサイクルで再生産が可能です。これにより、持続可能なサーキュラーエコノミーの実現に寄与します。バイオマスプラスチック製のレジ袋は、原料が植物であるため、化石資源に依存せずに製造できる点が特徴です。

3. 素材の再考（改プラ）

プラスチック製品は私たちの生活に不可欠なものですが、環境負荷を軽減するためには素材そのものを見直す必要があります。バイオマスプラスチックは、環境に配慮した素材として注目されており、**「脱プラ」ではなく「改プラ」**のアプローチとして有効です。

ポリ袋の特性

1. 化石資源の利用

ポリ袋は主に石油や天然ガスなどの化石資源を原料として製造されています。これらの資源は地中に長期間固定化された炭素を含んでおり、**燃焼することで大気中の二酸化炭素を増加させます。**このプロセスは地球温暖化の主な原因の一つです。

2. 二酸化炭素排出量の増加

ポリ袋の焼却時には、大量の二酸化炭素が大気中に放出されます。

化石資源から作られたポリ袋は、成長過程で二酸化炭素を吸収することがないため、全体として大気中の二酸化炭素を増加させる結果となります。

CO2排出量 & 再生可能資源

1.二酸化炭素排出量の比較：

1. **バイオマスレジ袋**：バイオマスレジ袋は、その原料である植物が成長過程で大気中の二酸化炭素を吸収するため、焼却時に排出される二酸化炭素は相殺されると考えられます。一般的には、バイオマスプラスチックのCO2排出量は従来の石油由来プラスチックよりも約**30%~70%削減**されると言われています。
 - CO2排出量：1 kgあたり約**1.6 kg CO2**
2. **ポリ袋（石油由来プラスチック）**：ポリ袋の製造および焼却過程では大量の二酸化炭素が排出されます。一般的には、ポリ袋1 kgあたり約6 kgのCO2が排出されます。
 - CO2排出量：1 kgあたり約**6 kg CO2**



2.再生可能資源の使用：

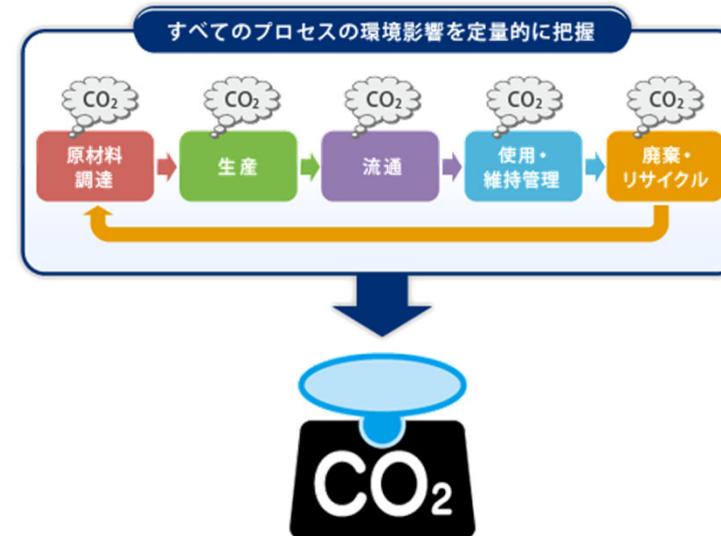
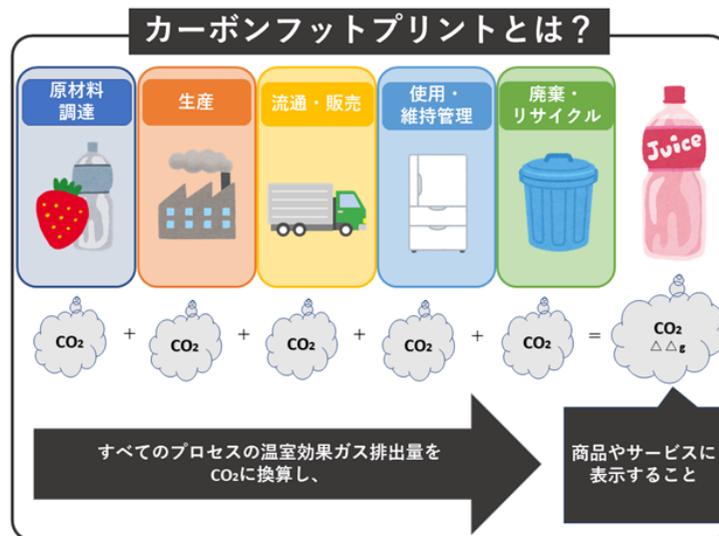
1. **バイオマスレジ袋**：バイオマスレジ袋の原料は再生可能な植物資源（例：さとうきび、とうもろこしなど）であり、持続可能な資源循環に貢献します。
 - 再生可能資源使用率：**100%**
2. **ポリ袋**：ポリ袋は化石燃料（石油）を原料としており、再生不可能な資源を消費します。
 - 再生可能資源使用率：**0%**

カーボンフットプリント

1.カーボンフットプリントの削減：

1. **バイオマスレジ袋**：バイオマス素材の使用により、製造過程でのCO2排出量が削減されます。
 一般的には、バイオマスプラスチックの使用により、**カーボンフットプリントが最大60%削減**されるとされています。
削減率：最大60%

1. **ポリ袋**：従来のプラスチック製品の製造過程では高いカーボンフットプリントが発生します。
削減率：0%



カーボンフットプリント（Carbon Footprint of Products：CFP）とは、商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでの間に排出される温室効果ガスをCO2に換算し、その商品・サービスに分かりやすく表示する仕組みです。

比較&まとめ

【具体的な数値比較の例】

CO2排出量（1トンの袋製造時）

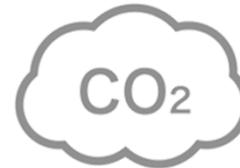
・バイオマスレジ袋：

- CO2排出量：1トンあたり約1.6トンのCO2
- カーボンフットプリント削減：最大60%削減

CO2排出量 **1.6t**CO2削減率 **最大60%**

・ポリ袋（石油由来プラスチック）：

- CO2排出量：1トンあたり約6トンのCO2
- カーボンフットプリント削減：0%

CO2排出量 **6t**CO2削減率 **0%**

【まとめ】

バイオマスレジ袋は、ポリ袋と比較して以下のような環境への影響の差があります：

- 1.CO2排出量：バイオマスレジ袋のCO2排出量は、ポリ袋の約30%~70%に削減されます。
- 2.再生可能資源の使用：バイオマスレジ袋は100%再生可能資源を使用し、持続可能な資源循環に貢献します。
- 3.カーボンフットプリントの削減：バイオマスレジ袋は製造過程で最大60%のカーボンフットプリント削減が可能です。

プラスチック製のレジ袋から、**バイオマス素材のレジ袋**に「改プラ」することで地球温暖化対策に貢献できます。